

ゴミって、28個も分別できるんです。

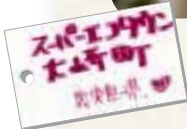
28項目のごみ分別から、無農薬野菜栽培まで。
エコなこといっぱい取り組む、スーパーエコタウン。



学校給食には、地域で採れた野菜などを積極的に使用し、給食の「地産地消」を推進。



まちのイベントでも来場者がごみの分別を行い、リサイクルを徹底。



住民、企業、商工会、学校、自治体が地域ぐるみで一体となり活動している大崎町。取り組みのひとつが、住民と行政との協働による、ごみ・資源の28品目分別です。住民組織「衛生自治会」が主体となり、「菜の花エコプロジェクト」も推進しています。この他にも「チーム・マイナス6%」をスローガンにした、「地球温暖化防止活動実行計画」に基づく町役場の率先行動、商工会と行政が連携し、住民参加型の温暖化対策を推進する「省エネ家族・応援プラン」など、多様な主体が連携しながら、地域を挙げた総合的な活動を展開しています。



遊休農地などで菜の花を栽培し、菜種油からバイオ燃料を作る「菜の花エコプロジェクト」を住民組織が主体となって運営。

講評

行政と住民が一体となって活躍しており、特に、ごみ焼却炉がないことを逆にとりごみの分別を徹底したり、廃油の石鹼づくりや有機堆肥の土作りを行ったりと、他の地域でも取り組まれている活動についても、ひとつひとつ丁寧に積み上げています。地域の団結力や組織力も非常に強いことが伝わってきました。

受賞者コメント

大崎町長 東 靖弘

住民一人ひとりの地道な努力が結実しました



大崎町の実績は、地域住民一人ひとりの地道な努力と、10年という歳月の積み重ねによって成し得たもの。名実ともに「スーパーエコタウンおおさき」の誕生だと受け止めています。今回の受賞により、地球温暖化というテー

マを通して活気のあるまちづくりができたことはもちろん、町民にとって、ふるさとへの自信と誇りを深めることができました。町民一人ひとりと受賞の喜びを分かち合い、さらに活動の輪を広げていきます。

団体名:大崎町

所在地:鹿児島県曾於郡大崎町

ウェブサイト:<http://www.town.kagoshima-osaki.lg.jp/>

都道府県大会の名称 **CO₂-CO₂と減らす「かごしまアクション」コンテスト**